

つくば賞表彰要綱

平成元年9月12日施行

(目的)

第1条 この要綱は、茨城県内において科学技術に関する研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者に対し、これを表彰することについて定めるものとする。

(賞の名称)

第2条 賞の名称は、つくば賞とする。

(表彰の対象)

第3条 表彰は、基礎・応用・開発を問わず理工学及び生命科学などの研究分野に携わり、科学技術の振興に貢献が期待できる研究者個人又はグループ（共同研究の場合は、その研究に対する貢献度合が候補者各々3分の1以上である者。）で、次のいずれかに該当する者に対して、一般財団法人茨城県科学技術振興財団理事長（以下「財団理事長」という。）及びつくばサイエンス・アカデミー会長（以下「SAT会長」という。）が行う。

- (1) 本県内において、現在研究活動をしているか又は過去に研究活動をしたことのある研究者であつて、世界的に評価を受ける優れた創造的研究・開発成果を挙げた者。
- (2) 世界的に評価を受ける特に優れた創造的研究・開発成果を挙げた研究者であつて、その内容を本県内において開催される国際学会等において初めて発表した者。

(受賞者の選考)

第4条 受賞者の選考は、次により行う。

- (1) 財団理事長及びSAT会長は、本県内に所在する国、公立及び民間の研究、教育機関（以下「研究機関等」という。）の長に、つくば賞候補者推薦書（様式第1号）により候補者の推薦を求める。
- (2) 財団理事長及びSAT会長は、受賞候補者を選考するため、別に定める「つくば賞委員会」（以下「委員会」という。）を設ける。
- (3) 委員会の下に、つくば賞予備審査会（以下「予備審査会」という。）を設ける。予備審査会は、研究機関等から推薦のあった者を審査のうえ、その結果をつくば賞受賞候補者推薦書（様式第2号）により委員会に推薦する。
- (4) 委員会は、予備審査会会長から推薦のあった者を審査のうえ、その結果を財団理事長及びSAT会長に推薦する。
- (5) 財団理事長及びSAT会長は、委員会委員長から推薦のあった者を査のうえ、受賞者を決定する。

(授賞)

第5条 受賞者には、表彰状、賞牌及び賞金を贈呈する。

(表彰)

第6条 表彰は、財団理事長及びSAT会長が適切な時期に行う。

(その他)

第7条 この要綱の施行について必要な事項は、別に定める。

付 則

この要綱は、平成元年9月12日から施行する。

付 則

この要綱は、平成2年6月30日から施行する。

付 則

この要綱は、平成6年6月23日から施行する。

付 則

この要綱は、平成16年11月12日から施行する。

付 則

この要綱は、平成19年12月3日から施行する。

付 則

この要綱は、平成21年12月17日から施行する。

付 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、令和6年12月18日から施行する。

				推薦順位	
令和 年 月 日					
一般財団法人茨城県科学技術振興財団理事長 つくばサイエンス・アカデミー会長 江崎 玲於奈 殿					

つくば賞表彰要綱第4条第1号の規定に基づき、同要綱第3条第1号又は第2号に該当する候補者として、下記の者を推薦します。					
一般事項	氏名 (ふりがな)		性別	生年月日	年齢
			男・女	年 月 日	歳 か月
	現住所			職業	
	本籍 (国籍)				
職歴の概要 (学歴・公職歴・その他の履歴)					
連絡先担当所属		職名	氏名	電話 :	
				fax :	
				e-mail :	

- (備考) 1 候補者の氏名について、候補者が外国人の場合には、漢字 (ある場合のみ)、カタカナ、英語の全ての表記を記載して下さい。また、年齢は本推薦書作成日現在の年齢を記載して下さい。
- 2 研究グループを推薦する場合には、「一般事項」の欄について、上記と同様の内容で人数分作成して下さい。
- 3 「創造的研究・開発成果をあげた内容」の欄が不足する場合には、適宜、用紙を追加して下さい。
- 4 推薦書・添付資料を40部 (推薦書・添付資料の一式を40部とし、推薦書表紙から添付資料の最終ページまで通してページ番号 (下部中央) をつけてください。両面コピー。) を提出してください。
 推薦書・添付資料一式の提出後、推薦書に記載の連絡先 e-mail アドレスに送付する電子データ提出の御案内に沿って電子データを提出してください。
- 5 受賞となった場合は職歴の概要を公表する予定であることをご了承ください。

研究主題

『 』

※『 』内に表題を記載ください。

(研究内容、独創性、波及効果、研究における主体性等について、簡素にかつ具体的に専門以外の方にも十分理解できるように記載してください。)

創造的研究・開発成果をあげた内容

参 考 事 項	1 主要論文タイトル <u>(前頁に記載した研究内容を確認できるよう、別刷を添付してください。また、審査に重要な要件であるため著者名及びCitation Index も必ずご記入ください。)</u> ① ② ③ ④ ⑤
	2 研究主題に係る共同研究者等 <u>(候補者及び共同研究者の貢献度の合計が100%となるように記載してください。また、本賞の受賞資格は、該当研究への貢献割合が3分の1以上の者となっておりますので、ご注意ください。)</u> 氏名 候補者・共同研究者の別 貢献度 (%) ① ② ③
	3 論文発表等 (本人の貢献度が50%以上のもの) ① 欧文誌 件 ② 邦文誌 件 * 全国規模以上の学会誌及びこれに準ずる学術誌に掲載されたレフリー付きフルペーパー
	4 これまでの受賞歴 ① 年 賞 ② 年 賞 ③ 年 賞
	5 特許等の取得について <u>(共同研究者、題目、出題番号等、簡潔に記載してください。また、各特許については、許諾を記載し、許諾がない場合には、「許諾なし」と記載してください。)</u> ① ② ③
	6 国内外の研究に与えたインパクト
	7 社会に与えた(与える)インパクト
	8 その他 (研究主題に関しての補足等)

注) 参考事項の記入について

- 1) 推薦者による記入をお願いします。
- 2) A4版2枚程度にまとめてください。
- 3) わかりやすく簡潔に記入してください。
- 4) この推薦書は、推薦ごとに作成してください。

つくば賞候補者推薦の基準

つくば賞表彰要綱第3条に該当する者を候補者として推薦することに当たっては、次の事項に留意されたい。

- 1 現存者であること。(なお、推薦時点において現存者であっても、受賞者決定の時点で現存者でなくなった場合は受賞の対象とならない。)
- 2 次の(1)又は(2)のいずれかに該当すること。
 - (1) 本県内において、現在又は過去に、概ね1年以上の期間研究活動を行った研究者であって、研究成果が世界的に評価を受けた者であること。
 - (2) 本県内で概ね2年以内に開催された国際学会等において、世界的に評価を受ける研究成果を、初めて発表した研究者であること。
- 3 共同研究の場合には、以下の全てを満たす者であること。
 - (1) 候補者の3分の2以上が上記2の(1)及び(2)に該当すること。
 - (2) 推薦の対象となる研究に対する貢献度合が、候補者各々が3分の1以上であること。

つくば奨励賞表彰要綱

平成2年6月30日施行

(目的)

第1条 この要綱は、茨城県内において科学技術に関する研究に携わり、一定の研究成果を収めた研究者及び将来を嘱望される研究者に対し、これを表彰することについて定めるものとする。

(賞の名称)

第2条 賞の名称は、つくば奨励賞とし、次のとおり部門を設ける。

- (1) 実用化研究部門
- (2) 若手研究者部門

(表彰の対象)

第3条 表彰は、基礎・応用・開発を問わず理工学及び生命科学などの研究分野に携わり、科学技術の振興に貢献が期待できる研究者個人又はグループで、前条に定める各部門ごとに次の条件に該当する者に対して、一般財団法人茨城県科学技術振興財団理事長（以下「財団理事長」という。）及びつくばサイエンス・アカデミー会長（以下「SAT会長」という。）が行う。

(1) 実用化研究部門

本県内において、現在研究活動をしているか又は過去に研究活動をしたことのある研究者であって、その研究成果が実用化される等、優れた創造的研究・開発成果をあげた者。（共同研究の場合は、その研究に対する貢献度合いが3分の1以上である者を表彰の対象とする。）

(2) 若手研究者部門

本県内において、現在研究活動をしている若手研究者であって、今後飛躍的な研究成果が期待できる者1名。（共同研究の場合は、その研究の主たる研究者であり、その貢献度合いが2分の1以上である者を表彰の対象とする。）

(受賞者の選考)

第4条 受賞者の選考は、次により行う。

- (1) 財団理事長及びSAT会長は、本県内に所在する国、公立及び民間の研究、教育機関（以下「研究機関等」という。）の長からつくば奨励賞候補者推薦書（様式第1号）により候補者の推薦を求める。
- (2) 受賞候補者の選考は、別に設置される「つくば賞委員会」（以下「委員会」という。）及びつくば賞予備審査会（以下「予備審査会」という。）において行う。
- (3) 予備審査会は、研究機関等から推薦のあった者について内容を審査のうえ、その結果をつくば奨励賞受賞候補者推薦書（様式第2号）により委員会に推薦する。
- (4) 委員会は、予備審査会長から推薦のあった者を審査のうえ、その結果を財団理事長及びSAT会長に推薦する。
- (5) 財団理事長及びSAT会長は、委員会委員長から推薦のあった者を審査のうえ、受賞者を決定する。

(授賞)

第5条 受賞者には、表彰状、賞牌及び賞金を贈呈する。

(表彰)

第6条 表彰は、財団理事長及びSAT会長が適切な時期に行う。

(その他)

第7条 この要綱の施行について必要な事項は、別に定める。

付 則

この要綱は、平成 2 年 6 月 30 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 3 年 6 月 17 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 5 年 11 月 16 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 6 年 6 月 23 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 16 年 11 月 12 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 19 年 12 月 3 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 21 年 12 月 17 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この要綱は、令和 6 年 12 月 18 日から施行する。

つくば奨励賞候補者推薦書（実用化研究部門）

				推薦順位	
令和 年 月 日					
一般財団法人茨城県科学技術振興財団理事長 つくばサイエンス・アカデミー会長 江崎 玲於奈 殿					

つくば奨励賞表彰要綱第4条第1号の規定に基づき、同要綱第3条第1号に該当する候補者として、下記の者を推薦します。					
一 般 事 項	氏名（ふりがな）		性別	生年月日	年齢
			男・女	年 月 日	歳 か月
	現住所			職業	
	本籍（国籍）				
職歴の概要（学歴・公職歴・その他の履歴）					
連絡先担当所属		職名	氏名	電話：	
				fax：	
				e-mail：	

- (備考) 1 候補者の氏名について、候補者が外国人の場合には、漢字（ある場合のみ）、カタカナ、英語の全ての表記を記載して下さい。また、年齢は本推薦書作成日現在での年齢を記載して下さい。
- 2 研究グループを推薦する場合には、「一般事項」の欄について、上記と同様の内容で人数分作成して下さい。
- 3 「創造的研究・開発成果をあげた内容」の欄が不足する場合には、適宜、用紙を追加して下さい。
- 4 推薦書・添付資料を40部（推薦書・添付資料の一式を40部とし、推薦書表紙から添付資料の最終ページまで通しでページ番号（下部中央）をつけてください。両面コピー。）を提出してください。
 推薦書・添付資料一式の提出後、推薦書に記載の連絡先 e-mail アドレスに送付する電子データ提出の御案内に沿って電子データを提出してください。
- 5 受賞となった場合は職歴の概要を公表する予定であることをご了承ください。

研究主題

『

』

※『 』内に表題を記載ください。

(研究内容、独創性、波及効果、研究における主体性等について、簡素にかつ具体的に専門以外の方にも十分理解できるように記載してください。)

創造的研究・開発成果をあげた内容

参 考 事 項	1	主要論文タイトル <u>(前頁に記載した研究内容を確認できるよう、別刷を添付してください。また、審査に重要な要件であるため著者名及びCitation Indexも必ずご記入ください。)</u>	
		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
	2	研究主題に係る共同研究者等 <u>(候補者及び共同研究者の貢献度の合計が100%となるように記載してください。また、本賞の受賞資格は、該当研究への貢献割合が3分の1以上の者となっておりますので、ご注意ください。)</u>	
		氏 名	候補者・共同研究者の別 貢献度 (%)
		①	
	②		
	③		
3	論文発表等 (本人の貢献度が50%以上のもの)		
	①	欧文誌 件	
	②	邦文誌 件	
	* 全国規模以上の学会誌及びこれに準ずる学術誌に掲載されたレフリー付きフルペーパー		
4	これまでの受賞歴		
	①	年 賞	
	②	年 賞	
	③	年 賞	
5	<u>特許等の取得について (共同研究者、題目、出題番号等、簡潔に記載してください。また、各特許については、許諾を記載し、許諾がない場合には、「許諾なし」と記載してください。)</u>		
	①		
	②		
	③		
6	国内外の研究に与えたインパクト		
7	社会に与えた(与える)インパクト		
8	研究主題の実用化例及び経過・見通し及び市場規模について		
9	その他 (研究主題に関しての補足等)		

注) 参考事項の記入について

- 1) 推薦者による記入をお願いします。
- 2) A4版2枚程度にまとめてください。
- 3) わかりやすく簡潔に記入してください。
- 4) この推薦書は、推薦ごとに作成してください。

つくば奨励賞候補者推薦書（若手研究者部門）

			推薦順位	
令和 年 月 日				
一般財団法人茨城県科学技術振興財団理事長 つくばサイエンス・アカデミー会長 江崎 玲於奈 殿				
つくば奨励賞表彰要綱第4条第1号の規定に基づき、同要綱第3条第2号に該当する候補者として、下記の者を推薦します。				
一般事項	氏名（ふりがな）	性別	生年月日	年齢
		男・女	年 月 日	歳 か月
	現住所		職業	
	本籍（国籍）			
	職歴の概要（学歴・公職歴・その他の履歴）			
連絡先担当所属	職名	氏名	電話： fax： e-mail：	

- (備考) 1 候補者の氏名について、候補者が外国人の場合には、漢字（ある場合のみ）、カタカナ、英語の全ての表記を記載して下さい。また、年齢は本推薦書作成日現在の年齢を記載して下さい。
- 2 「創造的研究・開発成果をあげた内容」の欄が不足する場合には、適宜、用紙を追加して下さい。
- 4 推薦書・添付資料を40部（推薦書・添付資料の一式を40部とし、推薦書表紙から添付資料の最終ページまで通しでページ番号（下部中央）をつけてください。両面コピー。）を提出してください。
- 推薦書・添付資料一式の提出後、推薦書に記載の連絡先 e-mail アドレスに送付する電子データ提出の御案内に沿って電子データを提出してください。
- 4 受賞となった場合は職歴の概要を公表する予定であることをご了承ください。

研究主題

『

』

※『 』内に表題を記載ください。
(研究内容、独創性、波及効果、研究における主体性等について、簡素にかつ具体的に専門以外の方にも十分理解できるように記載してください。)

創造的研究・開発成果をあげた内容

参 考 事 項	1 主要論文タイトル <u>(前頁に記載した研究内容を確認できるよう、別刷を添付してください。また、審査に重要な要件であるため著者名及びCitation Index も必ずご記入ください。)</u> ① ② ③ ④ ⑤
	2 研究主題に係る共同研究者等 <u>(候補者及び共同研究者の貢献度の合計が100%となるように記載してください。また、本賞の受賞資格は、該当研究への貢献割合が2分の1以上の者となっておりますので、ご注意ください。)</u> 氏名 候補者・共同研究者の別 貢献度 (%) ① ② ③
	3 論文発表等 (本人の貢献度が50%以上のもの) ① 欧文誌 件 ② 邦文誌 件 * 全国規模以上の学会誌及びこれに準ずる学術誌に掲載されたレフリー付きフルペーパー
	4 これまでの受賞歴 ④ 年 賞 ⑤ 年 賞 ⑥ 年 賞
	5 特許等の取得について (共同研究者、題目、出題番号等、簡潔に記載してください。また、各特許については、許諾を記載し、許諾がない場合には、「許諾なし」と記載してください。) ① ② ③
	6 国内外の研究に与えたインパクト
	7 社会に与えた(与える)インパクト
	8 その他 (研究主題に関しての補足等)

注) 参考事項の記入について

- 1) 推薦者による記入をお願いします。
- 2) A4版2枚程度にまとめてください。
- 3) わかりやすく簡潔に記入してください。
- 4) この推薦書は、推薦ごとに作成してください。

つくば奨励賞候補者推薦の基準

つくば奨励賞表彰要綱第3条に該当する者を候補者として推薦することに当たっては、次の事項に留意されたい。

- 1 現存者であること。(なお、推薦時点において現存者であっても、受賞者決定の時点で現存者でなくなった場合は受賞の対象とならない。)
- 2 次の(1)又は(2)のいずれかに該当すること。
 - (1) 実用化研究部門
 - ① 本県内において、現在又は過去に、概ね1年以上の期間研究活動を行った研究者であること。
 - ② 概ね5年以内に実用化又は公表された次のような研究成果が高い評価を受けている者であること。
 - ア 独創的な着想により、全く新しい技術を開発した。
 - イ 従来技術の高度な改良又は組み合わせにより、新しい効果をあげる技術を開発した。
 - ③ 共同研究の場合には、以下の全てを満たす者であること。
 - ア 候補者の3分の2以上が上記①②に該当すること。
 - イ 推薦の対象となる研究に対する貢献度合が、候補者各々が3分の1以上であること。
 - (2) 若手研究者部門
 - ① 本県内において、概ね1年以上の期間研究活動を行っている令和7年4月1日時点で、40歳以下の研究者であること。
 - ② 部分的にであっても既に公表されているか、又は今回公表できる研究成果から推して、今後の研究の進展によっては、世界的に評価を受ける飛躍的な成果が期待できる者であること。
 - ③ 共同研究の場合には、以下の全てを満たす者であること。
 - ア その研究における主たる研究者であること。
 - イ その研究に対する貢献度合が2分の1以上であること。